

第 29 回番組審議会 審議議事録

1. 開催日 令和 2 年 9 月 25 日（金）18 時～19 時
2. 開催場所 タスパークホテル 絢（山形県長井市館町北 6-27）
3. 委員出席 委員総数 : 7 名
欠席委員 : 0 名
出席委員 : 番組審議会委員会会長 勝見英一郎
番組審議会委員会副会長 齋藤 喜内
番組審議会委員 寺嶋 宏武
番組審議会委員 村田 裕子（書面で参加）
番組審議会委員 横山 照康（書面で参加）
番組審議会委員 新野 弘明
番組審議会委員 清水 幸広
放送事業者側出席 黒澤 栄（代表取締役）
高石 仁光（プロデューサー）
4. 議題
 - (1) 代表者挨拶
 - (2) 御審議
 - (3) その他
5. 議事の概要
 - (1) 経過報告
 - (2) ご審議
 - ①番組の適正について
審議対象番組：「おらんだのコミュニティ」
放送開始：4月1日（水）～ OA 中
日 時：隔週水曜 午前 10 時～ 午後 7 時～ 28 分番組
 - (3) 番組内容、構成、その他、全般について
 - (4) 次回の放送番組審議会日程についての確認

2. 審議内容

(1) 経過報告、トピックス

- ・7月より、長井市福祉安心課の番組「今日も元気にラジオ体操」開始。
月～金曜日 14:55 から 5 分間放送。
- ・長井警察署広報番組「黒獅子 110 番」開始。第一火曜日 ひるらじ内で生放送。
長井警察署署長や職員が交代で出演。
- ・新型コロナ対策川柳募集。多数の応募あり。
- ・7/28 (火) 大雨による避難勧告により、特別番組放送。
- ・9/1 (火) 伊佐沢中継所付近で倒木があり、撤去作業を実施。
- ・9/11 (金) 大雨による避難勧告発令により、特別番組放送。

(2) 御審議

<当局の番組制作意図>

飯豊町も視聴エリアとなって1年、長井市と飯豊町のコミュニティセンター・公民館を巡り、地元でしか聞けない話を紹介する番組。各地区で独自に運営しているため、各地区それぞれのカラーや取り組みがある。あえて方言を使い、より地元に着した放送を意図して制作を行っている。

<審議における委員の主たる意見、質疑>

- ・コミュニティセンターや公民館の役割、その地区の特色などの紹介もあればなお良い。方言は、あまり誇張しない方が聴きやすい。もっと深い話を引き出せるようにインタビューを工夫してほしい。
- ・冒頭で「地域の情報を発信します」とあったが、内容はコミセンの紹介だった。コミセンの紹介番組としては面白かったが、番組の趣旨と少し外れているのではと感じた。その地区がどんな特色があるのか（人口や産業）をもっと紹介してほしい。方言は、県外出身者の自分としては、怒っているかのようにきつく感じるころがあった。
- ・仕事柄、コミセンの紹介や移住者である方の声を紹介してもらえて嬉しかった。コミセンと公民館は役割や出来ることが異なる。長井市は今年からコミセンになり、防災や地域福祉の他、自主事業として収益を求めることができるようになった。番組の取材内容をホームページでも紹介しているのも良いと思った。
- ・近所のおばあちゃんが井戸端会議に来たのかなというような感じで親しみが持てた。地元の人たちには、非常に身近な番組になっているのでは。県外から来たので、土地の距離

感（位置）がわかりにくかった。方言は聴きとれる程度なので、意味も伝わり聴きやすかった。ほっこりしたいい番組だなと思った。

・パーソナリティの特色を生かした番組づくりだと思った。音声だけでなく映像の発信は出来ないのか。

（事務局）

技術的には可能。スタジオからは動画配信を行ったことがあるが、外の取材では人員を確保できないので行っていない。

・シナリオがあってそれに沿って作成していると思うが、事前取材はどのようにしているのか。

（事務局）

電話での打ち合わせの他、事前にインタビューシートを送付している。後半のゲストコーナーでは地域で話題の方をコミセン・公民館の方に紹介してもらっている。

・他の委員からもあったが、もっと地域の基本情報（人口や環境、世帯数、どの辺に位置するのかなど）を盛り込んだらいいのでは。

・インタビューの際に、一生懸命に取り組んでいる事などをもっと深く掘り下げてほしい。

・全体的に良くまとまっている。インタビュアーが質問の流れを止めてしまう場面があり、その部分は残念だと思った。

・方言は人によって受け止め方がある。方言を使ってローカル色を出すのは安直な感じがする。方言を使わずに中身で地域の特色を出せるのではないか。

・一生懸命にやっている感じが伝わってくる。

・親しみがありいいと思うが、（方言が）誇張されていないか気になる。

（事務局）

方言を使ってインタビューするとインタビューを受ける方もリラックスしてしゃべってくれるという利点がある。方言で語り掛けることにより、より自然に話してもらえていると感じている。

他の番組の取材でもそうだが、取材に行くと取材先の人たちや周りの人たちにも聴いてもらえるので、リスナーの拡大に繋がる。方言を使いながらもわかりやすい表現を追求していきたい。

・聴きやすさも大事な要素なのでその辺を考慮しながらお願いしたい。地方色を出しながら、洗練された番組が編成されてきたと感じている。

(3) 番組内容、構成、その他、全般について

(事務局)

パーソナリティを募集している。お知り合いで良い方がいればご紹介ください。

- ・番組の改編はいつあるのか

(事務局)

番組改編は3ヶ月ごと。次は10月、その次は1月になる。

7. 審議会の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

- ・特になし

8. 審議会の意見の概要の公表

公表方法：自社ホームページへの掲載

公表内容：本議事録

公表年月日：令和2年10月14日（水）

9. その他の事項

次回の放送番組審議会日程について

- ・審議会の回数は四半期に1回
- ・第30回放送番組審議会 12月7日（月）開催予定
開場 タスホテル 18:00～